

大会テーマ

大学・大学評価の原点を探る

2004年度から始まった認証評価はまもなく2巡目を終え、2018年度からは新しい評価基準のもとで3巡目が始まろうとしています。同じ年に国立大学は法人化され、中期目標・中期計画にもとづく大学運営がなされるようになり、2016年度から第3期が始まっています。

大学評価学会は認証評価がスタートする直前の2004年3月28日に設立されました。そこで採択された「大学評価京都宣言」は、「大学評価は、教育や研究のありように直結しており、学問の自由、そしてそれを制度化したものである大学の自治の根幹に関わるものです」と述べ、大学評価の重要性を指摘しました。

本全国大会では、この10数年間に行われてきた大学評価、そしてこれから行われようとしている大学評価を、大学の原点、大学評価の原点という視角から議論できればと考えています。会員、非会員を問わず多数のご参加をお持ちしています。

日時:2017年3月4日(土)～3月5日(日)

場所:龍谷大学 深草キャンパス(和顔館)

住所:〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

アクセス:JR奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分／京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分／京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分
http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_fukakusa.html

参加費:会員 1500円/会員外 3000円(申込不要)/院生・学生等 1000円

懇親会費:4000円(院生・学生等 2000円/「院生・学生等」扱いは会員・非会員を問わない)

大会連絡先:大会実行委員会 委員長・重本直利(龍谷大学)

事務局長・細川孝(龍谷大学)／林尚毅(龍谷大学)

龍谷大学経営学部 細川孝研究室

E-mail: hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp / TEL & FAX : 075-645-8634

3月4日(土) ※9:00～受付(和顔館地下1階B108教室前)

9:30～12:00 第1分科会(自由研究発表) 発表各40分+総合討論30分

[A会場:B109教室]「大学政策・評価・無償化」司会:渡部(君和田)容子(近畿大学)

1)村上 孝弘(龍谷大学)「スタッフ・ディベロップメント(SD)の義務化と大学評価」

2)水谷 勇(神戸学院大学)「アメリカ合衆国における学費高騰の現状と対策」

3)石井 拓児(名古屋大学)

「アメリカにおける授業料・奨学金政策の歴史的展開と新しい動向」

[B会場:B110教室]「学生・青年の発達保障」司会:國本真吾(鳥取短期大学)

1)瀧本 美子(龍谷大学)「子ども・若者の育ちと、大学における障がいのある学生への支援」

2)金丸 彰寿(神戸大学大学院生)

「青年期の発達保障に基づく『共生』——1970-80年代における京都府立与謝の
海養護学校を中心とした『共同教育』実践運動に着目して」

3)下木なつみ(神戸大学大学院生)

「青年期の『自分づくり』と若者支援——自治体における取り組みに着目して」

12:00～13:00 昼食休憩(第VI期 第8回理事会)
(※会員控室:B108、理事会:B110教室)

※大会期間中、会員控室に「ポスターコーナー」を設けています。是非ご覧ください。

13:00～13:50 第14回会員総会(B107教室)

14:00～17:30 シンポジウム(B107教室)

[報告]14:00～16:15

1)「市民的大学評価論の確立に向けた大学政策の検討」

光本 滋(北海道大学)

2)「市民とは誰か、市民のための大学とは何か」

岡山 茂(早稲田大学)

3)「大学に迫りくる危機——軍事研究の動向について」

松田 正久(愛知教育大学[名誉])

[討論]16:30～17:30

<司会・コメント> 西垣順子(大阪市立大学)、井上千一(大阪人間科学大学)

18:00～19:45 懇親会(8号館2階「京都産業人倶楽部」)

9:30～12:00 分科会（午前部）

3月5日（日）

第2分科会（B109教室） 座長：安東正玄（立命館大学）**「教職協働」****テーマ：教職協働の可能性**

<趣旨>「教職協働」をテーマに大学における職員課題に取り組んできた。今年は、職員の現状と可能性について、大学の中からだけでなく、大学の外の事例にも触れながら、今後の研究テーマを深めるための取り組みについて共有化を進める。具体的には、地方自治体における職員と地域の関係の視点で一つ。大学の職員の視点で一つ。そして最後に、2017年度にKAKENに申請している「教職協働」の狙いについて理解を深める。

- 1)伊東 直登（松本大学松商短期大学部）「公共図書館における協働事業と職員の意識」
- 2)藤井 潤二（立命館大学）「大学での教職協働について」
- 3)深野 政之（大阪府立大学）
「高等教育機関における教職協働に関する総合的研究について」

[指定討論者] 菊池 芳明（横浜市立大学）

第3分科会（B110教室） 座長：西垣順子（大阪市立大学）**「発達保障」****テーマ：青年・学生の学習要求とその具体化をめぐって**

<趣旨>「学校から仕事への移行」や「子どもから大人への移行」などの移行の長期化が指摘されるようになって久しい。それは年長者からは愚痴として、青年自身からは自己非肯定的な表現として語られることが少なくないようにも思われる。しかし実際のところ、比較的長期にわたる移行期の存在は、社会にとっても青年たちにとってもより多様な意味と背景を持っているのではないかと思われる。「青年・学生の発達要求(学習要求)」という観点から、その「意味」の内容と具体的な形について考えたい。

- 1)蔵原 清人(工学院大学[名誉])「青年期の発達課題—青年自身の目標としてどう設定するか」
- 2)荒木 奈美(札幌大学)「『ノンエリート大学』に学ぶ学生の『生き直し』をめぐる事例報告
——文学授業の中で見えてくる学生たちの現状と可能性」

[指定討論者] 伊田 勝憲(静岡大学)

12:00～13:00 昼食休憩（第VI期 第9回理事会）

（※会員控室：B108、理事会：B110教室）

3月5日(日)

13:30～15:30 記念講演

13:30～15:30 記念講演 (B107教室)

「大学はこのままでいいのか」

京都産業大学総合生命科学部教授・タンパク質動態研究所所長 永田 和宏氏

今大会の記念講演には、細胞生物学がご専門の永田先生をお招きし、現在の大学が直面しているさまざまな問題についてお話いただきます。本講演をお願いした契機は、『京都新聞』に連載された「一步先のあなたへ」(永田研究室のサイトで読むことができます)です。

先生のご著書には、『生命の内と外』新潮社、2017年;『タンパク質の一生——生命活動の舞台裏』岩波新書、2008年などがあります。また、永田先生は歌人としても著名な方であり、この分野でのご著書も多数あります。

<司会> 細川 孝 (龍谷大学)

※本講演は、公開講演会として、日本科学者会議京都支部の共催、高等教育研究会(京都)の後援で開催いたします。参加費は無料です。

<プレ企画>

「無償教育の漸進的導入」と大学評価基準

(「漸進的無償化」科研 第5回公開研究会として開催)

「大学がバナンスと社会的公共性の確立——『無償化プログラム』の可能性」

重本 直利(龍谷大学)

「JUAA選書15『大学評価の体系化』をめぐる①」

堀 雅晴(立命館大学)

「JUAA選書15『大学評価の体系化』をめぐる②」

細川 孝(龍谷大学)

日時：2017年3月3日(金) 14:00～17:00

場所：龍谷大学深草キャンパス 和顔館B110教室

※入場無料です。皆様お誘い合わせの上、ご参加下さい。

<大学評価学会共同事務局>

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部 渡部昭男研究室

E-mail: akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp / TEL & FAX: 078(803)7726

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学経営学部 細川孝研究室

(会費・発送・HP管理) E-mail: hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp / TEL & FAX: 075(645)8634